

アジェンダ21すいた

～持続可能な社会への行動計画～

【概要版】



平成17年(2005年)3月

アジェンダ21すいた策定会議

アジェンダ21すいたとは

～地域が変える地球の未来～

■ 地球サミットとアジェンダ21 ■

地球温暖化やオゾン層の破壊など地球規模の環境問題が、私たち人類の生存基盤である地球を脅かしつつあります。これらの問題は、私たちの日常生活や事業活動が原因となっているものが多く、そのため、問題の対処にあたっては、市民・事業者・行政を始め社会を構成するすべての人々の主体的な取組みと、お互いの特長を活かし合った協働による取組みが必要となっています。

そのような観点から、1992年、ブラジルのリオ・デ・ジャネイロにおいて、世界の約180カ国が参加し、「環境と開発に関する国連会議（地球サミット）」が開催されました。

この会議では、地球規模の環境問題と地域の発展について論議が交わされ、その成果として、「持続可能な開発」を基本理念とする「環境と開発に関するリオ宣言」及びその理念を実現するための行動計画として「アジェンダ21」が採択されました。

アジェンダとは英語で「課題」や「議題」、21は「21世紀」を意味しています。

「アジェンダ21」の内容としては、わが国での一般的な環境問題だけでなく、人口問題、貧困問題から教育や人権などの幅広い課題に対して、国や国際機関などの様々な立場の人々がとるべき行動が示されています。

この「アジェンダ21」では、「アジェンダ21で提起されている諸問題及び解決策の多くが地域的な活動に根ざしているものであることから、地方公共団体の参加及び協力が目的達成のための決定的な要素になる。（第28章）」として、世界中の自治体に対して地域を構成する市民、事業者、行政の協働による「ローカルアジェンダ21」（地域行動計画）の策定、推進を求めています。

これは、地域が地球環境問題などの課題を解決する鍵を握っていることを示しているもので、この考えに基づき、吹田市においても地域の行動計画として「アジェンダ21すいた」を策定することになりました。



■ 計画策定の背景・目的 ■

現在、私たちが直面する環境問題の多くは、日常生活や事業活動が原因となっているため、私たち一人ひとりの生活のあり方を見直すことなしに解決することができない状況になっています。

そのため、20世紀の人類社会に大きな成長をもたらした大量生産・大量消費・大量廃棄を前提とした社会経済システムのあり方を見直し、地球の持つ限界を認識した上で、効率よくエネルギーや資源を利用し、環境負荷ができるだけ少なくなるような社会の仕組みを考え、行動する必要があります。

私たちの子孫が豊かに暮らしつづけることができるような持続可能な社会を実現するために、吹田という地域で取組みが可能な具体的な行動を定め、市民・事業者・行政が協働して、実践する計画として、この「アジェンダ21すいた」を策定するものです。

■ 計画の役割 ■

- (1) 持続可能な社会を実現するための具体的な行動（行動プロジェクト）を示します。
- (2) 市民・事業者・行政が協働で実践する方向性・進行管理の手法を示します。

■ 計画の位置づけ・性格 ■

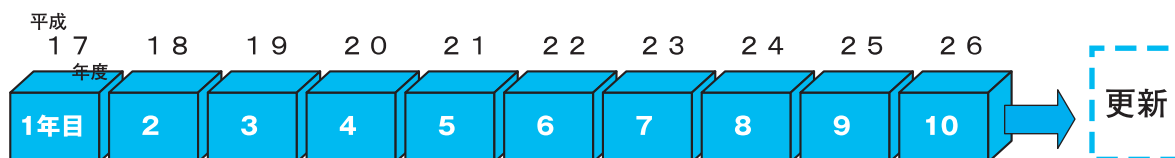
本計画は、「アジェンダ21」で示された地域行動計画（ローカルアジェンダ21）として、策定するものです。

「環境基本計画」は、市が策定・推進主体となる行政計画であるのに対し、「アジェンダ21すいた」は、地域を構成する市民・事業者・行政が策定・推進主体となり、社会が直面している課題、すなわち持続可能な社会づくりに対して、協働し、取り組む社会計画としての性格を持ちます。

■ 計画の期間 ■

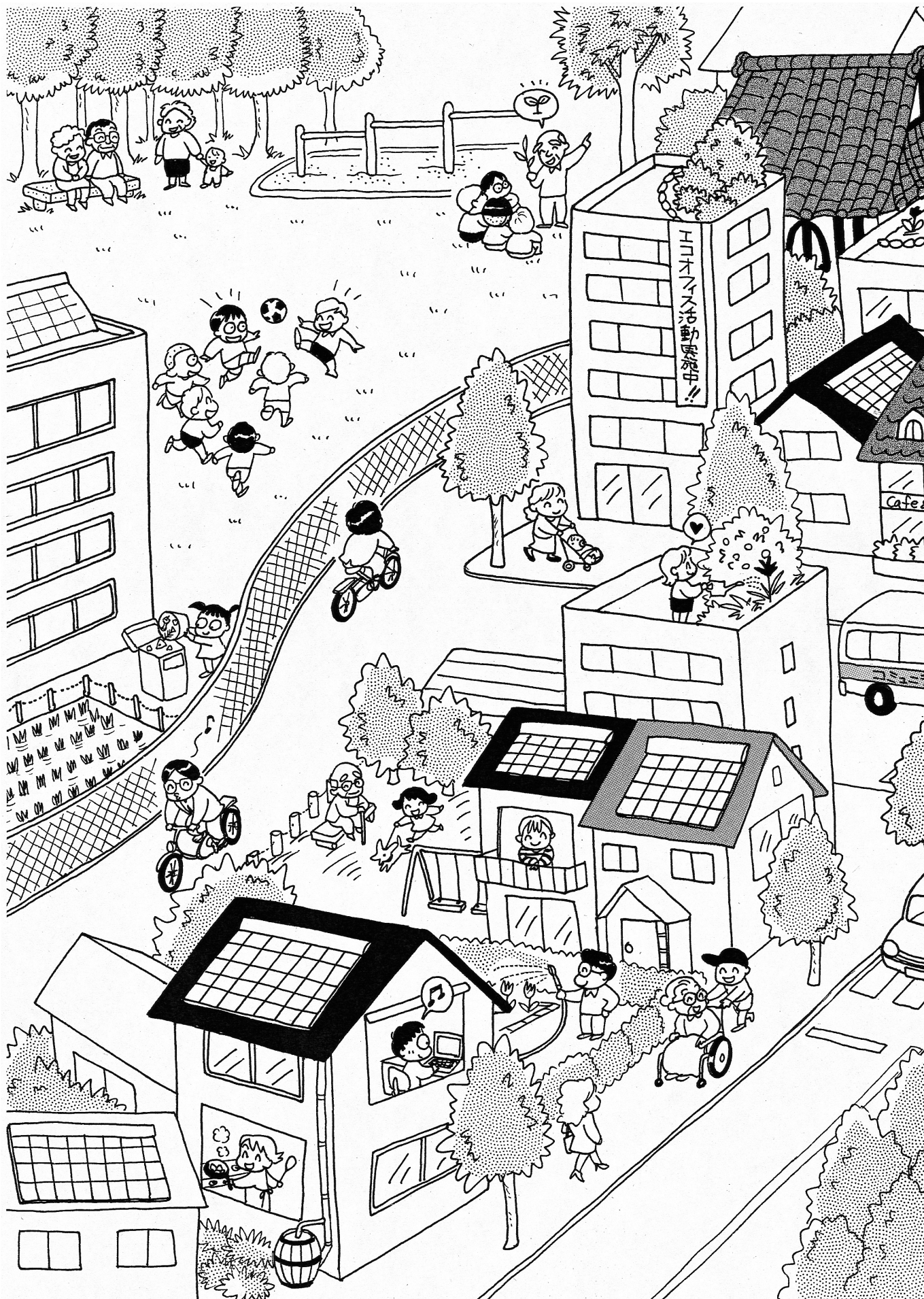
計画の期間は、10年を一区切りとします。但し、社会情勢の変化に対応するため、必要に応じて見直しを行い、更新します。

○ 平成17年（2005年）度～平成26年（2014）年度



■ プロジェクト全体のイメージ図 ■

めざす方向性をイメージイラストで示します。



■ 行動プロジェクトの概要 ■

明るいまち すいた【エネルギー】

- “省エネ”で温暖化ストップ塾
地球温暖化の現状などの学ぶ機会を提供し、省エネ行動を広げます。
- 空・Solar town 計画
太陽光発電などの自然エネルギーを普及させるための仕組みづくりを進めます。
- 省エネ・新エネ学習体験教室
次世代を担う子どもたちに省エネ・新エネ学習を行います。
- アクションSS・アドバイザーネットワーク
事業所や行政施設の省エネ・省資源の取組みをチェックします。
- エコホーム作戦
家庭の省エネ・省資源実践行動を広めます。
- 廃食油で広がるエネルギーの環
地域で廃食油を回収し、有効利用する仕組みづくりを進めます。
- 千里自然エネルギーの丘
人がたくさん集まる公園への自然エネルギーの導入を目指します。



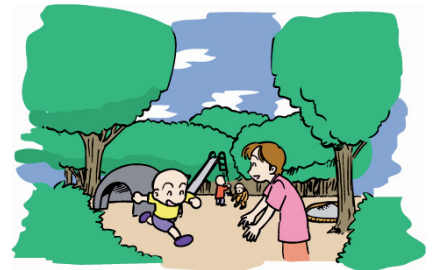
めぐりのまち すいた【資源】

- 消費者とお店どっちもうれしい 実現しよう!ごみゼロのまち吹田
消費者とお店が一体となったごみの発生抑制の仕組みづくりを進めます。
- 大忙し!町の修理屋さん
モノを修理して長く使うことができる仕組みづくりを進めます。
- 「吹田環境大賞」で環境活動を盛り上げよう
環境への取組みに対する表彰制度を創設し、吹田の環境活動を盛り上げます。
- カブトムシの住む花咲き町吹田
剪定枝をリサイクルする仕組みづくりを進めます。
- イベントごみゼロをめざせ!
リユース食器、マイ食器使用のイベントを広げます。
- 地域と連携した学校でのごみ学習・食農共育
地域や学校での生ごみ堆肥化の仕組みづくりを進めます。
- すいた・めぐりのやかた
商店街の空き店舗などを利用し、楽しく環境について学ぶことができる場所作りを目指します。



自然とともにこちよく生きるまち すいた【自然】

- **神崎川エコアップ作戦**～子どもから高齢者、そして恋人達が寄り添える活気のある懐かしい場所に～
エコアップに取組み、たくさんの人が集まり、賑わいのある神崎川を目指します。
- **緑のジュータン（絨毯）推進計画**
校庭、オープンスペースなどを緑化し、緑のジュータンを広げます。
- **グリーン大作戦～つなげよう緑のネットワーク～**
吹田の北部と南部をつなぐ緑ネットワークづくりを目指します。
- **小さなみどりの親善大使**
子どもたちが親善大使となって、環境活動に取組みます。
- **すいたポケットパークプロジェクト**
町中に誰もが憩うことのできる交流の場を創出します。



人と人をつなぐ交通のまち すいた【交通】

- **吹田のみちマップをつくろう**
交通の視点から吹田のみちを調べ、マップにまとめます。
- **歩いて楽しいみちとまちなみをつくろう**
楽しく歩けるみちとまちなみづくりを進めます。
- **自転車的スローライフの輪を広げよう**
自転車の利用促進、自転車文化の構築を目指します。
- **クリーンでグリーンなまちづくりをめざそう**
エコカーライフと自動車抑制で安全で健康なまちづくりを目指します。
- **吹田らしい21世紀型公共交通システムを考えよう**
新しい交通システムをみんなで考えましょう。



ともぞだちのまち すいた【環境教育】

- **スクールアジェンダ21 学校を環境学習の基地に！**
楽しく学びながら、学校から環境学習の場を広げていきます。
- **楽しく使える環境情報ホームページ**
環境に関わる情報提供の場を設け、クイズなど楽しみながら意識を高めます。
- **吹田発「環境すごろく」**
自然や環境に配慮した取組みをすごろくにし、ゲームを通じて紹介します。
- **めざせ！エコ・クッキングの達人**
市民とプロの料理人が、環境の視点から料理を創作し、レシピを広めます。



アジェンダ21すいたの進め方

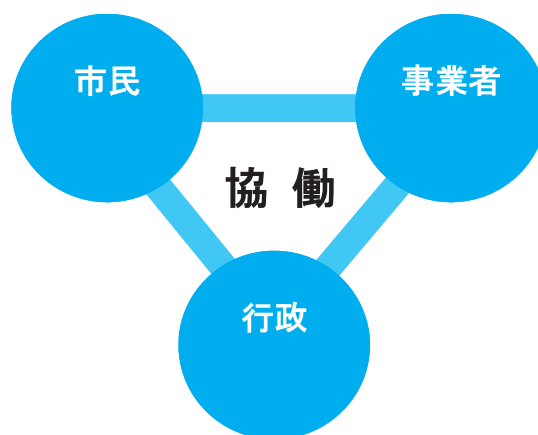
～画に描いた餅にしないために～

■ 計画推進方針 ■

計画は、実行されなければ「画に描いた餅」に終わってしまいます。本計画に示された様々な行動プロジェクトを実行に移すには、それを着実に進めるための体制の整備が必要です。

持続可能な地域社会を実現するには、市民・事業者・行政がそれぞれ主体的に取り組むことに加え、三者協働により、お互いの特長を生かしあって、相乗効果をもたらすように取り組むことが重要です。

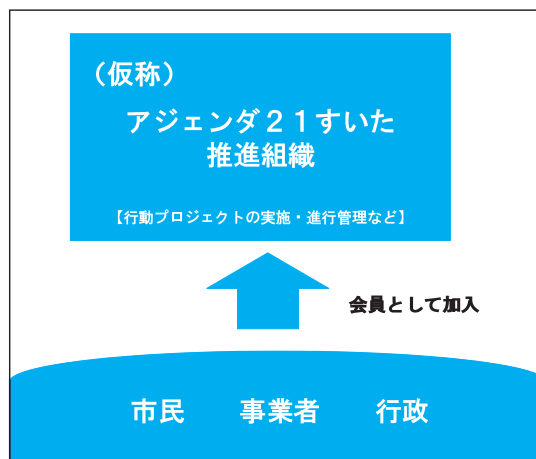
本計画は、三者協働により策定しましたが、このようなことから引き続き、三者協働のもとに計画を推進していくことを基本方針とします。



■ 三者協働による推進組織の設置 ■

行動プロジェクトの実行など、市民・事業者・行政が三者協働で具体的に計画を進めていくための基盤となる組織「(仮称) アジェンダ21すいた推進組織」を設置します。

この組織は、アジェンダ21すいたの趣旨に賛同し、行動しようとする人ならば誰でも会員になれるものとします。運営は、市民・事業者・行政が協働で行い、持続可能な社会づくりを実践します。また、行動プロジェクト推進のために必要と思われる実行組織を自ら設置し、展開する機能を持ち、ローカルアジェンダ21の原則である三者協働を基本としながら、より自立性を高めた運営を目指します。

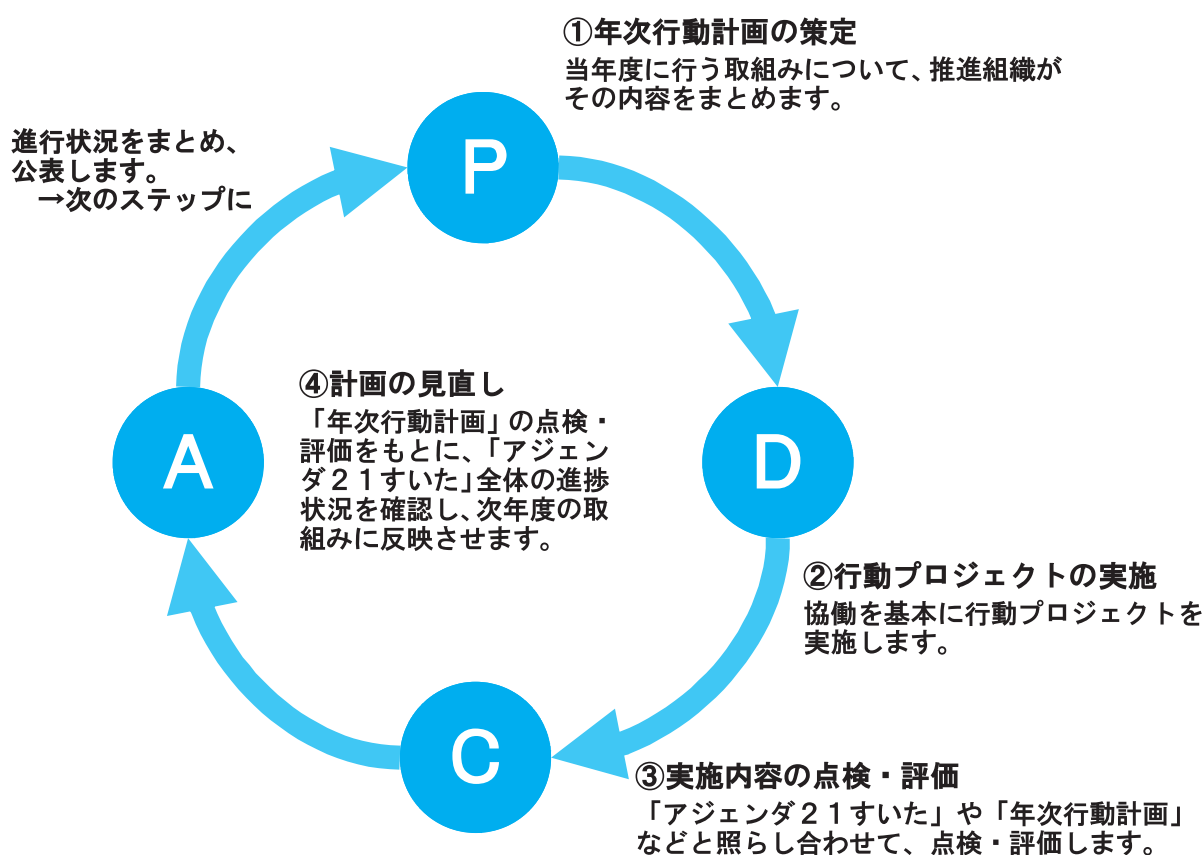


■ 進行管理 ■

計画の進行管理は、P D C Aサイクルを回していくことを基本とします。

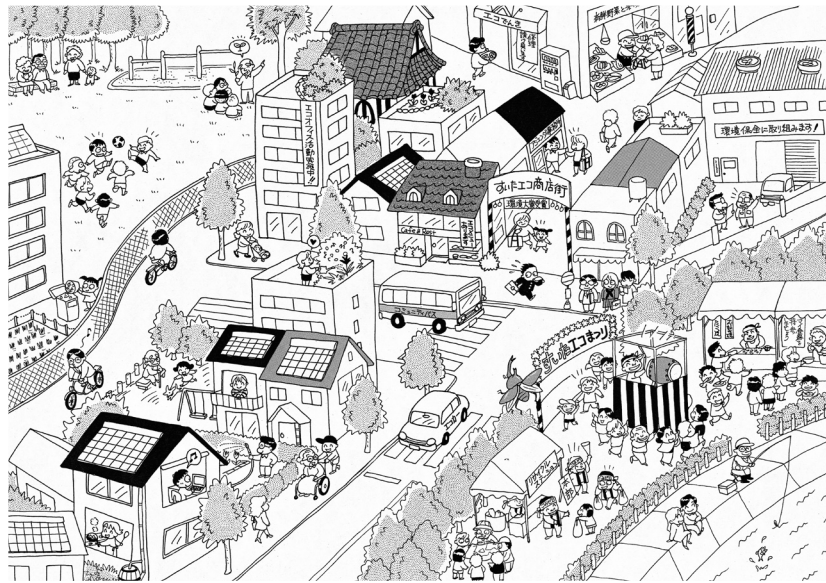
P D C Aサイクルとは、「P l a n (計画)」、「D o (実行)」、「C h e c k (点検・評価)」、「A c t i o n (見直し)」のことで、P⇒D⇒C⇒A⇒・・・と繰り返し、計画の進捗状況を把握し、課題を解決しながら改善と向上を図る進行管理手法のことです。

計画の進行管理は「(仮称) アジェンダ21すいた推進組織」が行い、計画の全体的な進捗状況、各行動プロジェクトの実施状況などを把握し、それらの評価、見直し結果を広く市民に対して、明らかにするものとします。



年次行動計画

推進組織が、「アジェンダ21すいた」に基づいて、市民・事業者・行政が行う年度ごとの取組みについて、まとめ、公表します。



アジェンダ21すいた ～持続可能な社会への行動計画～【概要版】

平成17年（2005年）3月

編集発行 吹田市環境部環境室 地球環境課

住所：〒564-8550 吹田市泉町1-3-40

TEL：06-6384-1231 FAX：06-6368-7350

表紙絵：あらい ゆきこ氏